

(OKINAWA)

☆形フルーツに満足

「守礼の裏門」を見る

「さわやか」ボランティア

下畑 和幸

行ってきまされた沖繩へ。お代はただ。何でただかという、親父が掛けている郵便局の簡易保険の旅行に本人が行けなくなったので、代理参加したのだ。

一泊二日という少し過密な日程なのだが、いいじゃん、いいじゃん、ただなんだからと喜んで行く。同伴者は当然の様にお年寄りばかり。添乗員も60代と思われる人だった

定期に中津駅を出たバスは福岡空港に向けて出発。十時半の飛行機で沖繩に向かった。正午、那覇空港着。ここで自由に昼食をとるので、私は「沖繩そば」というのを空港で食べた。インスタントのカップうどんの麺のような太くて縮れた麺に昆布だしのおつゆ。これに豚のバラ肉煮込みが入っていた。味はたいしたことはない。

約90分後に集合と言っていたのに、一人来ない。添乗員が探し回ると迷っていたとか

ったけど。

まず、玉泉洞という鍾乳洞に行く。洞内は約1kmもあるというのに、お年寄りのせかせか歩くこと。

私は、途中のベンチに腰掛けてのんびり洞内を見る。鍾乳石がものすごくぶら下がっていて中々興味深い。それに団体を通り過ぎたあとの洞内はシーンとしていいものだ。アベックも俺が少し離れた所で見ているのに気づかずいやらしく親交を深めるなどしてやがる。それにしても暑い鍾乳洞というとひんやりし

ていると考えるが沖繩のは蒸し蒸しとしている。さすが南国、気が違ふのだ。地上に出て売店を見ると切り口が☆形をしたスターフルーツやパッションフルーツ、キワノなど食べたいと思っていた果物が切って食べられるように売っている。

頼んで一人で食いまくった。満足じゃ。ついでだからココナツクリーム入りのソフトクリームも食べた、うまい。あと何力所か行ったがそれなりね。

秋田市腎友会 通院支援センター

「スワン」設立

三月十九日午前十時より秋田県社会福祉会館6Fで秋田市腎友会・通院支援センター「スワン」の設立総会が開催されました。

参加者は県腎協役員、秋田市腎友会会員など約二十名、来賓として、瀬田川県議会議長、秋田市障害福祉課黒沢課長、通院介護センター「さわやか」江頭会長の三名が参加しました。

三月十九日午前十時より秋田県社会福祉会館6Fで秋田市腎友会・通院支援センター「スワン」の設立総会が開催されました。長い期間にわたって研究された成果が披露されました。会則の決定、具体的送迎の仕方、補償の問題など熱心な討議がされました。最後にボランティアさんと利用者のコーディネートまで行われました。あとは、四月一日を待つばかりになりました。

全国で透析患者の通院事業は十七ですが、「スワン」が設立されたので、十八になり

雇作中で今は「守礼の裏門」しか見られないのだ。という旅行だった。家へのお土産は果物多数と紫色の羊、中身汁という豚モ

介護保険本番へ

ボランティアさんの御協力を!

ドア・ツー・ドアを原則に

四月一日から、いよいよ介護保険のサービスが開始されます。今までのホームヘルプサービスは各市町村による措置制度の範囲内で行われていたが、四月一日からは、40歳以上の国民全員が保険料を払い、サービスが必要な人(介護申請をして介護度の出た人)は全員、サービスが受けられるようになります。

現在、介護申請をした透析患者さんが、「いきいき北九州」に10名サービスを依頼してきています。

北九州市腎友会では福岡難病連北九州市支部と共同で、特定非営利活動法人「ホームヘルプ事業いきいき北九州」の事業をしています。

「さわやか」の仕事は、あくまでも、戸から戸までの送迎です。車までの移動は、ヘルパーさんの仕事になります。運行上、何か問題があれば「遠慮なくさわやか」にお知らせ下さい。「いきいき北九州」と話し合います。

「スワン」は、行政からの助成金がすぐにも可能な感触をえました。行政からの助成金が得られれば、全国でも屈指の事業所になると思います。ファイイト!ファイイト!

「スワン」は、行政からの助成金がすぐにも可能な感触をえました。行政からの助成金が得られれば、全国でも屈指の事業所になると思います。ファイイト!ファイイト!